壱岐市

議会だより

令和元年7月25日発行　発行責任者：壱岐市議会議長　編集：議会広報特別委員会

第62号

▲令和元年7月5日　石田こども園 七夕集会
子どもたちが書いた、たくさんの短冊と手作りの七夕飾りが園舎を彩っていました。願いごとが叶いますように！

【主な内容】

4～6月会議で決めたこと……2
どえな予算のあると？……3
委員会レポート……4
一般質問（7人が登壇）……7
市民の声……11
議会だよりクイズ……12

４～６月会議で決めたこと

４～６月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることから、使用料、手数料に関する条例の改正を行った。

例えば、旧中学校体育館、グラウンドの夜間照明施設、テニスコート、石田スポーツセンター等の市の体育施設の使用料。壱岐の島ホール、ふれあい広場、勝本町ふれあいセンターかざはや、クオリティーライフセンターつばさ、壱岐市自動車教習所の施設使用料。三島航路の旅客運賃、ごみ処理手数料、水道料金、下水道使用料などを改正。

改正の一部抜粋

【水道料金】

区分	用途	基本		超過	
		使用水量	改正前→後	使用水量	改正前→後
水道料金	一般	５㎥まで（１ヶ月）	630円→640円	１㎥あたり	236円→240円

改正内容の詳細は今後、市報、市のホームページ等で周知される予定です。

◆壱岐葬斎場建設工事（建築主体）請負契約の締結について

現施設は、昭和62年に建設され築32年以上が経過し、建物や設備の老朽化が見られるため整備を行う。現葬斎場を稼動させながら駐車場へ新施設を建設し、新施設完成後に現葬斎場の解体及び駐車場整備等を行うこととしている。

契 約 金 額　　４億4,064万円

契約の相手方　　有限会社 割石工務店　代表取締役　割石　賢明

◆消防ポンプ自動車（CD−I 型）購入契約の締結について

常備消防ポンプ自動車は経年による故障も多く、消防力の増強及び緊急消防援助隊車両更新のため、補助金を活用し新たにポンプ車（郷ノ浦支署配備）を購入する。

契 約 金 額　　3,650万４千円

契約の相手方　　株式会社 ヤナセファイテック　代表取締役　梁瀬　義行

◆壱岐市森林環境譲与税基金条例の制定について

本年度国の税制改革において森林環境譲与税が創設されたことに伴い、森林の間伐や人材育成・担い手確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する施策に必要な経費の財源に充てるため、壱岐市森林環境譲与税基金を設置する。

審議結果をＰ６の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和元年度 補正予算

一般会計の６月補正額計	３億8,200万円
特別会計の６月補正額計	170万７千円
一般会計＋特別会計補正後の予算総額	326億1,329万２千円

○令和元年度各会計予算一覧

（単位：千円）

会計名		現計予算額	６月補正額	補正後予算額合計
一般会計		23,670,000	382,000	24,052,000
特別会計	国民健康保険	4,140,830		4,140,830
	後期高齢者医療	331,677		331,677
	介護保険	3,514,347	1,707	3,516,054
	下水道	333,871		333,871
	三島航路	116,521		116,521
	農業機械銀行	122,339		122,339
	合計	8,559,585	1,707	8,561,292
一般会計・特別会計の合計		32,229,585	383,707	32,613,292

どえな予算のあると？

プレミアム付商品券事業　220,479千円

消費税・地方消費税の引上げが非課税者・３歳未満の子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、非課税者・３歳未満の子育て世帯向けのプレミアム付商品券を発行・販売する。

予防接種事業（風疹）　7,145千円

風疹の感染を拡大させないため、国の緊急対策として抗体検査・予防接種を実施する。対象は予防接種を公的に受けることができなかった、昭和37年度～昭和53年度生まれの男性。

令和ゆかりの地情報発信事業　1,150千円

新元号「令和」の典拠となった万葉集にちなみ、本年10月に開園50周年を迎える万葉公園にて和歌イベントを実施し、さらなる情報発信を行う。

コミュニティ助成事業　総額15,000千円

㈶自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業で、地域コミュニティ活動の充実・強化及び、地域の防災活動に直接必要な設備等の整備を図る。財源は宝くじの収益金。

①石田町自治公民館連絡協議会（2,500千円）
…コミュニティ活動用備品整備（移動用放送設備、テーブル等）
②芦辺町箱崎中山触公民館（9,100千円）…箱崎中山触コミュニティセンターの建設
③立石仲触公民館自主防災組織（2,000千円）…防災資器材の整備
④初瀬婦人防火クラブ（1,000千円）…D－１ポンプ一式ほか備品の整備
⑤筒城保育所（400千円）…幼年消防用鼓笛隊セット

委員会レポート

産業建設常任委員会

６月会議で付託された４議案については、全て可決、承認した。

ただし議案第１号の消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、分割審査のため所管の部分について審査を行った。

また、要請第１号の新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出については、採択すべきものとした。

【委員会意見】

消費税率及び地方消費税率の引上げについては、施設使用料・手数料等の引上げになるので、市民への充分な周知を行うこと。

森林環境譲与税基金については、新たに創設された貴重な財源であるため、法の趣旨に則り、効率的かつ計画的に活用をすること。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、４次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和３年３月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

長崎県壱岐市議会

（提出先）

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

総務文教厚生常任委員会

６月会議で付託された５議案については、全て可決、承認した。

【委員会意見】

議案第１号の消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、施設使用料・手数料等の額の改定による市民負担への影響を十分考慮し、市民への周知徹底を行い、料金滞納等が起こらないようにすること。

予算特別委員会

６月会議に付託された令和元年度一般会計補正予算は、全会一致で可決した。

主な質問と答弁

Q　**「逆参勤交代事業」の内容説明を**

A　江戸時代の参勤交代の現代版で、逆にしようという事業。東京の企業が地方に社員を送ることによって、会社は人材育成ができる、地方は元気になるという、いわゆる「関係人口」を増やそうという事業。市は平成29年度に「市生涯活躍のまち」基本指針及び実施計画を策定しまちづくりをしてきた。この日本版構想の第一人者である松田智生様に市の政策顧問になっていただき、助言をしてもらっている。本事業は、都会から地方へ、期間限定で来ていただき、まずは試行的に成果と課題を整理する取り組み。壱岐の移住定住のキーパーソンの方との意見交換や体験を交え、市長に課題解決の提案をする事業。

Q　**ケーブルテレビ次期指定管理者に、市がインターネット回線使用料を支払うと、今のままでは、また同じ問題を繰り返すことになる。海底ケーブルの回線使用権を壱岐市所有にするよう検討してはどうか。**

A　指摘のとおり。検討する。

Q　**「令和ゆかりの地情報発信事業」の事業内容は。地域を巻き込むのがよい。市内文化団体への補助金が貧弱な割には事業費が高額、単年で効果も少ない、無駄ではないか。全国発信できるようにしてもらいたい。**

A　島外からツアー客を呼び万葉公園で和歌を詠んでもらう事業。新元号になった機会を生かしたい。継続するかどうかは実績を見て決めたい。地域を巻き込むなどして、費用対効果に見合うよう努力する。

Q　**「プレミアム付商品券事業」について、非課税世帯と子育て世帯に限定されるのか。周知方法は。委託先は。**

A　2019年度住民税非課税者、３歳未満の子育て世帯に限定。８月以降、対象者に個別通知で周知を図る。郵便局で販売予定。

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議案件名	付託委員会	本会議採決結果	
４月	報告第２号	壱岐市税条例の一部改正に係る専決処分の報告について	省略	４／16	報告済
	報告第３号	壱岐市国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の報告について	省略	４／16	報告済
	報告第４号	平成30年度壱岐市一般会計補正予算（第８号）の専決処分の報告について	省略	４／16	報告済
	議案第41号	壱岐市税条例の一部改正について	省略	４／16	可決
	議案第42号	壱岐市介護保険条例の一部改正について	省略	４／16	可決
	議案第43号	壱岐葬斎場建設工事（建築主体）請負契約の締結について	省略	４／16	可決
６月	報告第１号	平成30年度壱岐市一般会計補正予算（第９号）の専決処分の報告について	省略	６／18	報告済
	報告第２号	平成30年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第４号）の専決処分の報告について	省略	６／18	報告済
	報告第３号	平成30年度壱岐市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	省略	６／18	報告済
	報告第４号	平成30年度壱岐市下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	省略	６／18	報告済
	報告第５号	平成30年度壱岐市一般会計予算の事故繰越し繰越計算書の報告について	省略	６／18	報告済
	議案第１号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務文教厚生 産業建設	６／28	可決
	議案第２号	壱岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	６／28	可決
	議案第３号	壱岐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	６／28	可決
	議案第４号	壱岐市森林環境譲与税基金条例の制定について	産業建設	６／28	可決
	議案第５号	壱岐市火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	６／28	可決
	議案第６号	過疎地域自立促進計画（変更）の策定について	産業建設	６／28	可決
	議案第７号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画（変更）の策定について	産業建設	６／28	可決
	議案第８号	令和元年度壱岐市一般会計補正予算（第１号）	予算特別	６／28	可決
	議案第９号	令和元年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	総務文教厚生	６／28	可決
	議案第10号	消防ポンプ自動車（CD−Ⅰ型）購入契約の締結について	省略	６／28	可決
	要請第１号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	産業建設	６／28	採択
	発議第１号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	省略	６／28	可決

本年５月１日の改元に伴い、議案番号は改めて第１号から付けられています。

一般質問

７人が登壇　市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

右下のＱＲコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を視聴できます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によってことなります。
※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。

赤木　貴尚　議員

質問　壱岐市内通学路の現状と整備計画は

答　通学路の安全は確保されている

赤木　壱岐市内の通学路の現状とその安全性について。

教育長　新入学児童の登下校の安全を守るために壱岐市商工会青年部から毎年ランドセルカバーの寄贈、JA 共済からは黄色い雨傘の寄贈、今年度から壱岐防犯協会から防犯ブザーを児童に寄贈いただいた。各小学校区では、毎日、地域の方や色々な組織の方が立哨指導に取り組んでいただいている。通学路の現状については、新入学児童の登下校コースは、入念な点検活動を実施しながら、児童へは直接安全指導を行っている。

安全性については、スクールゾーンの指定区域内でも歩道を確保するのが無理と思われる場所がある。学校で対応できることは学校で、市教委と建設部が連携して対応すべき場所は連携し通学路については、点検活動と見守りを中心とした安全対策を計画的に進めていて現在のところ、通学路の安全性は確保されていると考えている。

赤木　壱岐市通学路安全プログラムにおける整備において、点検結果、地域要望に対して目に見える対策の迅速かつ計画的な実施が必要ではないか。

建設部長　壱岐市では平成26年度以降、このプログラムに基づいて、教育委員会、警察、各道路管理者等で壱岐市通学路安全対策推進協議会を構成し２年に１回の通学路点検を行っている。定期点検において、危険・要対策箇所と判断された箇所は計画的に整備を進めている。

新食品表示法について

赤木　壱岐産品の信頼性を高めるためにも、新食品表示法の周知、表示違反防止対策は。

農林水産部長　壱岐市内の表示指導対象施設は、届出上417施設。新食品表示説明は、県主催で行っている。違反防止の為に県と情報共有し壱岐市内の417施設を年度別計画により巡回調査を行う。

久保田恒憲 議員

質問 タイワンリス駆除の現状は

答 専門家を呼び対応する

久保田　島内での被害が出始めてから10年以上が過ぎているが成果は上がっているのか。市民からは捕獲駆除の方法にも疑問が出ているが対応は。

農林水産部長　平成14年度から捕獲開始、平成30年度まで17年間で年平均7085匹、合計12万440匹を捕獲、昨年度は１万6300匹と最も多く捕獲された。そこで本年度、専門家を招き、捕獲技術の向上を図るための講習会を開催する。

設置されているリスの捕獲器

単身世帯への支援を

久保田　公営住宅には単身者が入居できないので、やむを得ず家賃の高いアパートへ入居するしかない。壱岐は中小企業が多く、住宅手当を出せる企業も少ない。壱岐で独り立ちして働く単身世帯へ何らかの補助支援策をとるべき。

市長　ＵＩターン者用民間住宅で市の確保分の残室を４万円で島内の単身者に提供したい。

スクールバス制度の見直しを

久保田　新たな交通網の整備でスクールバスの空席へ一般市民を乗せる、混乗を考えているが、統合されていない地域で通学距離が長い中学生を乗せるよう制度を改めるべき。事前に100名の市民、スクールバス利用の生徒にも意見を聞いたが、中学生を優先すべきとの意見が大多数だった。中学校統廃合から７年が過ぎ、新たな交通網を考えるなら市民の意見に耳を傾け、見直すべき。

教育長　母校を無くした保護者地域の方々から制度見直しの声が届いていないので、混乗については検討するが、中学生については現状維持。

鵜瀬　和博 議員

質問 公園の整備充実を

答 安全安心を第一に憩いの場として

鵜瀬　多くの子どもたちや家族連れが利用をしている公園では、老朽化等により、遊具を撤去し、その後遊具の更新はない。安全安心して遊べる公園の整備、充実させることも子育て環境の充実へと繋がり、行政として重要と考える。市が管理している公園数と所管課の内訳は。

建設部長　市が管理している公園数は51。内訳としては建設課８、農林課17、観光課12、水産課７、こども家庭課４、教育委員会２、環境衛生課１。

鵜瀬　今後の整備計画は。

建設部長　新たな計画はないが安全安心に利用できるよう点検を行い、管理体制の充実と子育て支援に貢献できるよう遊具更新も含め十分検討する。

鵜瀬　避暑施設や授乳スペースの確保、オストメイト(注1)対応トイレの設置を。

建設部長　パーゴラ(注2)、四阿(あずまや)(注3)を33か所の公園に設置済、その他の施設は各部署で研究検討する。

鵜瀬　健康づくりを目的とした健康遊具の設置を。

元居公園の四阿

建設部長　利用対象が中学生以上であり、監視が行き届かないため事故の危険性等があり設置は考えていない。

鵜瀬　公園施設の写真や場所を記載した公園マップの作成を。

建設部長　既存の観光・防災マップへの掲載や「結婚・妊娠・子育て」ホームページの今年度リニューアルにあわせ検討する。

鵜瀬　将来的には公園維持管理を上越市のようにまちづくり協議会とのパートナーシップを結んでは。

市長　公園には様々な機能があり、地域コミュニティーを有機的にするためいい提案だ。

(注１) オストメイト：人工肛門や人工膀胱保有者
(注２) パーゴラ：つる性の植物を絡ませたりして日陰をつくる、木材の棚。
(注３) 四阿：柱と屋根、あるいはそれに壁面が取り付けられる形で屋外に置かれる小さな建屋。

音嶋　正吾 議員

質問 有人国境離島新法は伝家の宝刀に非ず

答 事業効果を検証していく

音嶋　雇用創出に寄与するための事業である特定有人国境離島地域社会維持推進交付金制度の認定状況について。
企画振興部長　本年度は創業３件、事業拡大20件となっており、提出された企画書について事前確認等を行い、事業実施候補者としての選定等、審査会を図り決定している。
音嶋　本事業支援は本市の場合２年間で打ち切っている。産業振興、雇用拡大に寄与するには短すぎるのでは。
企画振興部長　より多くの事業者に本制度を活用してもらうため、原則２年間としている。

新設改良から管理重視型道路政策へ移行を

音嶋　人口減少、高齢化が迫る中、路側帯のライン整備、危険箇所、老朽化箇所の強靭化重視の道路政策を。
建設部長　市および自治公民館の皆様の御協力により伐採を行っている。改良工事と平行しながら今まで以上に維持管理に力を入れていきたい。
音嶋　道路の状況を把握するためにもパトロール隊を設けては。
建設部長　建設課の職員が現場に向かう際、道路のパトロール調査も並行して行っており、あらためてのパトロール隊の創設は考えていない。また、災害発生時における壱岐市と壱岐市内郵便局の協力に関する協定を結んでいることから、道路パトロールについても壱岐市内郵便局に御協力いただけないか研究していく。
市長　まちづくり協議会、公民館、各種機関と協定を結び、共助で支えあう体制を整備していく。

磯焼け対策を急げ

音嶋　藻場再生のために、海藻を中間育成して植食性動物の被害を無くしたのち、磯場に転置してはどうか。
農林水産部長　イスズミ駆除等植食性動物の個体減少対策、周辺海域の継続的な潜水調査の実施、関係機関との関係強化を図り磯やけ対策、藻場造成に取り組んでいきたい。

清水　　修 議員

質問 担い手づくりへの関係人口創出事業の取り組みは

答 モデル事業に向け検討し、準備する

清水　壱岐市の将来を担う関係人口を増やすことについて、総務省の関係人口創出事業の活用の意向は。
市長　今年度はまだ申請していないが、来年度の事業として取り組むこととして現在計画をしている。
清水　幼児教育の無償化は10月から対応できるのか。
市民部長　原則、国の制度どおり実施することとし、準備を進めたい。現在、待機児童はいないが、今後も生じないように保育士の人材確保に努めたい。
清水　高等教育の無償化について、現在の壱岐市の奨学金制度の状況と制度の見直しの意向は。
教育次長　30年度の利用者は、高校１、専門学校・短大４、大学２の計７名です。元年度の予定者は高校１大学３で計４名。見直しについては、壱岐市の奨学金制度は国や県の対象とならない学生への補完的な制度との考えから現段階では考えていない。
清水　対馬市では「返還免除や猶予の規定」を追加するなど見直して今年度から募集している。五島市では貸与型と給付型の２種類で募集しているが、今後の検討はないか。壱岐で育った子どもたちが島外に進学して専門職を身に付け故郷に帰って就職できる仕組み作りが、奨学金制度の見直しで可能にできないか。
教育長　教育委員会でも給付型や一定年数地域で従事できれば返還を免除するなどの検討をしている。
市長　現在壱岐市では、地域包括ケアの推進に関係して、奨学金の返還金に対する助成制度がある。これを１次産業や２次産業にも導入できないかと受けとめたので検討したい。
清水　財源の確保が無ければ実現しないので、ふるさと納税寄付金の使われ方にある「しまの未来を担う人材育成プロジェクト」も活用しながら、奨学金制度の見直しを期待している。

植村　圭司 議員

質問 壱岐を「ジオパーク」に提案

答 他地域の効果等を検証する

植村　壱岐全体を自然公園として発信し、観光や教育、地域振興に役立てて頂きたい。壱岐の美しい地形、地質、生態系、人の営みとしての歴史、文化、産業は密接につながりストーリーがある。世界ユネスコ登録も可能だし、日本ジオパークに認定してもらうことも可能。持続的に地域振興に資する事業として取り組んではいかがか。

辰の島

企画振興部長　壱岐は「壱岐対馬国定公園」にも指定されており古代から自然が育んだ景勝地に恵まれ、ジオパークへの認定は可能な環境と考えるが、準備期間、予算、労力が必要となるのも事実。他地域の現状を調査し、認定の効果等を検証する。当面は、イルカパークと一支国博物館に代表される施設やおもてなしの精神等を全面に打ち出し、地域活性化に注力する。ジオパーク認定には、顧客満足度を高める活動や再認定の審査対応が必要で、これまで検討していない。

植村　審査対応をすることで壱岐の中で活力が出る。民間目線での対応もできる。壱岐最大の資源と言われる「歴史」が今は十分売り込めていない。改善する事業として考えて頂きたい。

再生可能エネルギーの促進

植村　今後の壱岐市の取り組み方針は？

市長　2015年から低炭素の島づくりを推進してきた。2030年までに国が目指す再生可能エネルギー導入率24％を壱岐市で達成するのが目標。水素化する再生可能エネルギーとして太陽光発電と風力発電の導入拡大を図る。洋上風力発電も当然活用すべき。県のゾーニング実証事業にも取り組む。民間企業や金融機関と連携を図り、地域新電力も視野に入れ、しっかりとした制度設計をしたい。

植村　2030年だけでなく、2050年の国目標に向けても促進をお願いしたい。

市山　　繁 議員

質問 陸上自衛隊誘致に関する意見書提出について

答 自衛隊の組織等は要望の反映は難しい

市山　平成28年６月30日付で地方自治法第99条の規定により陸上自衛隊誘致に関する意見書を壱岐市議会から内閣総理大臣、防衛大臣へ提出して３年になる。何の情報もないが意見書の受理と価値について。

市長　国の防衛体制整備は高度な計画が具現化されており、陸上自衛隊の配置、自衛隊の組織にかかる事に対しては地方自治体の要望が反映される事は極めて厳しいと言える。

市山　自治体急患搬送体制の維持確保について。長崎県は離島が多く救急患者を本土の救急病院への搬送は、夜間においては県知事からの災害派遣要請に基づいて自衛隊に対応をお願いしている。第22航空群の救難機が数年で更新時期を迎えるが、後継機の更新予定も未定である。早期に対応すべきで今後の救急搬送に支障が出る恐れがある県や離島市町の対策について。

市長　この件については長崎県当局がいち早く認識され、本市や他の離島市町に連絡を受けている。県民の生命にかかわる重要な問題である。防衛省へ政府施策要望を実施する。

ふるさと納税について

市山　ふるさと納税寄付者に対し、心を掴む感謝として、御礼状や季節的な暑中お見舞、年賀状などにより、リピーターにもつながるが、リピーターの現在の率について。

企画振興部長　ご寄付をいただいた方々には、そのお礼状を送付し、年始めには年賀状を送付しお礼の挨拶をしている。現在のリピーター率は約15パーセントとなっている。今後もご寄付いただいた方とのかかわり方を大切にしたい。

全国市議会議長会会長永年勤続表彰

去る６月11日に東京都で開催された全国市議会議長会第95回定期総会において、地方自治の発展と市政の振興に貢献した市議会議員の永年の功績を讃え表彰式が行われました。本市議会からも市議会議員に15年以上在職している３名の議員が表彰され、６月13日壱岐市議会定例会本会議において、表彰状の伝達が行われました。

小金丸益明 議員

豊坂　敏文 議員

町田　正一 議員

※上記の表彰された方々については、全国市議会議長会表彰規程により、市議会発足までの町議会議員として勤続された２分の１の期間が市議会議員の勤続年数に通算されています。

市民の声

「議会だより第61号」クイズ応募者よりいただいたご意見ご感想です。

毎回の議会だより楽しみに見ています。表、裏の季節の写真とてもいいですね。
桜の花とても美しい、どこの桜でしょうね。
毎回見ていますと内容もよく分かり、議員皆様方のご苦労がよく分かります。
後記も良く出来ています。自分も毎日笑って令和の時代を楽しく過ごしたいです。ありがとうございます。（73歳）

・ダイヤモンドいきの表紙がステキです。
・一般質問では１つ１つが身近なことに思えてきました。
・イルカパークのリニューアルについての記事を読んで、私も久しぶりにイルカパークに行ってみようかと思いました。（60歳）

三島の人口も減り小学生も４人になり、保育所も１人ととてもさびしくなりました。（58歳）

議会だより、内容は市が取り組んである事が分かりやすく、市民として安心して読みました。（63歳）

議会だより久し振りにじっくり読みました。色々な実現する事のむずかしいのが特に漁業ですね。
早く昔の海に成る事を陰ながら祈るのみです。特にうに等小さいのを取らない様にとか。（84歳）

壱岐サイクルフェスティバル2019

クイズに答えて図書カード（1,000円）が当たります。
皆さんのご応募待ってま～す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。

ひまわり畑で一休み

Q1 ○○ゆかりの地として万葉公園から情報発信を行う

Q2 壱岐市○○環境譲与税基金条例が制定された

Q3 昨年度のタイワンリスの捕獲量は？

第61回クイズの答え

①犯罪
②リブート
③委員会付託

第61回クイズの当選者

田口　豊子 様
豊増　春陽 様
平田晃士朗 様
重村　初美 様
松本　兼次 様
おめでとうございます！

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。
ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。
正解者の中から、抽選で５名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。（当選者の発表は次号に掲載）
《あて先》 〒811－5521
壱岐市勝本町西戸触182－５　壱岐市議会事務局宛
《しめきり》 令和元年８月31日（当日消印有効）

《個人情報の取り扱いについて》
ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

任期半分の2年を迎えました。
委員会再編に伴い、私たち編集委員も、今号の「議会だより」をもって最後の発行になりました。
わかりやすく読みやすく、工夫をしてきたつもりですが、どうだったでしょうか。2年前に比べて、少しずつ変わった点もありますが、まだまだの部分もあります。
より親しまれ、より理解され、よりニーズにあう「議会だより」を求めて、議会としてこれからも、研鑽を続けなければと思います。
さて、いよいよ本格的な夏を迎えます。熱中症に気をつけて頑張って乗り切っていきましょう。
植村　圭司

議会広報特別委員会
委員長　植村　圭司
副委員長　久保田恒憲
委員　山川　忠久
山内　豊
清水　修
土谷　勇二
牧永　護

お知らせ

壱岐市ホームページ
https://www.city.iki.nagasaki.jpの市議会のインデックス（見出し）を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎（総務課）・各庁舎（市民生活班）・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。
市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
壱岐市議会議員一同

編集　議会広報特別委員会
〒811-5521
長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5
TEL：0920-42-1114
FAX：0920-42-0096
【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp
【URL】https://www.city.iki.nagasaki.jp/

VEGETABLE OIL INK　壱岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。